令和5年度事業報告書

1)本部

新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に移行され、ご家族の面会を窓越し面会から会議室での対面による面会に緩和しました。しかし、8月から9月にかけて新型コロナウイルス感染者のクラスターが発生し、入所者の隔離対応を行ないました。また、2月にも新型コロナウイルス感染者が発生し再度コロナ感染者対策を実施しました。

職員採用では、看護師の退職により2名の看護師の補充を行いました。また、ケアマネージャー職員の業務負担の軽減のためにケアマネージャー職員を1名増員しました。介護職においては、3名の退職により人員不足が続いていましたが、補充がまだできていません。

介護職員確保は、今後も日本人採用は難しく引き続き外国人の活用を検討していく必要性を感じています。人材紹介センターからの紹介は多数ありますが年収の20%から30%の紹介料が必要です。日本人人材確保には今後は人材紹介会社を活用していくしかありません。今年度はミャンマー人を2名、留学生として受け入れています。

特別養護老人ホームでは、近隣の老人入所施設が増えたことにより入所待機者が少なく、稼働率の低下につながり、収益が減っています。デイサービスセンターにおいても、有料老人ホームの稼働率低下により利用者数が減少し収益が下がりました。

人材育成面については、外部研修とあわせて昨年度同様にWEB(インターネットを使用した閲覧システム)研修を継続し、ご利用者に安心安全で、信頼される施設となれるよう職員の質の向上を図るため、全職員に映像での講義研修の機会を設けました。

今年度は、佐賀県介護職員研究発表大会にケアハウスから発表施設として参加し、自立支援をテーマに素晴らしい発表をしてくれました。今後、九州大会での発表も予定されています。

職員の処遇改善においては、給与面では改善がみられていますが、休暇取得においては、人員不足から法定有給休暇取得日数(年5日)をころうじてクリアできている状態です。

介護職員の人員確保を今後の最優先課題として、取り組んでいきます。

令和5年度 主な事業実施状況報告

運営面	理事会2回(6月16日、2月2日(書面)、3月28日) 評議員会1回(6月29日) 監事監査 1回 (5月29日)
人材確保	3名
主な行事	クリスマス会 誕生会 新年会 クラブ活動 お茶会
地域交流	コロナウイルス感染予防のため未実施

1

地域貢献	車椅子対応軽自動車及び車椅子無料貸出し、介護予防ふれあいデイサービス送迎支援、大町町地域ケアネットワーク会議参加、佐賀県地域包括ケア推進会議参加、大町町社協理事及び評議員、大町町地域包括支援センター運営委員、
------	--

大町町入所判定委員、介護認定審査委員、佐賀県老人福祉施設協議会役員、佐賀県介護保険事業連合会理事、杵藤地区広域市町村組合地域密着型サービス運営委員、佐賀県在宅サポートセンター運営委員、西九州大学短期大学部実習受け入れ

広 報	デイサービス月例便り発行	
防火対策	昼間避難訓練 コロナ禍実施できていません。 夜間避難訓練実施 コロナ禍実施できていません。 非常放送設備保守 電気設備点検(月次点検実施)	
環境対策	合併処理施設放流水透視度点検(月2回) 害虫駆除 年2回 浄化槽検査及び清掃実施 園内草刈清掃実施 受水槽清掃 浄化槽法定検査(特養1回)(有料1回)	
衛生対策	飲料水の水質検査実施(1回) レジオネラ菌の定期検査(2回) ヘアークャッチャーの洗浄殺菌消毒実施	
面 会	対面面会再開	
預り金管理	月毎に確認管理を行い4半期毎に実績を報告	
人材育成	内部研修 (感染症対策、虐待防止、事故防止、接遇、新人研修) 外部研修(延べ126名参加) 決算対策&消費税インボイスセミナー 1名 おむつ基本のあて方研修 1名 令和5年度新規介護認定調査員研修 1名 新卒求人説明会・公正選考人権研修 1名 通所事業所向け:BCP 作成研修会基礎講座 風水害編 1名 BCP 対策訓練セミナー(全事業所) 1名 介護実習連絡協議会 2名 介護保険施設職員等研修会(BCP) 3名 高齢者福祉施設等感染症対策研修会 2名 主任介護支援専門員更新研修 1名 おむつもれの原因の把握研修 1名 通所向け:BCP 作成研修 地震編(基礎) 1名 入所向け:BCP 作成研修会 地震編(基礎) 1名 入所施設向け:BCP 作成研修会 感染症編 基礎 1名 人権・同和問題研修会 1名 排泄用具の活用 1名 通所向け:BCP 作成研修会感染症編(基礎) 1名	

2

介護福祉士実習指導者講習	1名
九社連通所介護部会セミナー	1名
相談面接技術研修	1名
	6名
	1名
	1名
	2名

九社連施設職員研究大会
入所向け:BCP 作成研修 風水害編 (応用)
令和5年度外国人材受け入れセミナー
高齢者虐待防止研修会
特定給食施設栄養管理従事者研修会
令和5年度佐賀県認知症介護実践リーダー研修
失禁アセスメント研修
利用者の排泄 ADL を上げる研修
杵藤地区高齢者福祉施設等感染対策研修
令和5年度外国人雇用育成定着セミナー
令和5年度介護認定調査員研修
令和5年度大町町認知症多職種協同研修会
入所向け:BCP 作成研修会自然災害編(応用)
令和5年度福祉サービス苦情解決研修会
BCP 策定支援セミナー
処遇改善加算の一本化セミナー
佐賀県老人福祉施設協議会職員研修会
入所向け:BCP 作成研修会感染症編(応用)
2024年度介護報酬改定のポイント
社会福祉法人経営者セミナー
第5回 LIFE 研究会
令和5年度居宅介護支援事業者研修会
大町町成年後見制度活用研修会
社会福祉法人役員等研修会
九社連老協施設長研修会
デイサービスセンター職員研修会
通所向け:BCP 作成研修会感染症編(応用)
介護現場における生産性向上フォーラム
1年間の活動成果発表会
介護保険制度改正等研修会
若手介護職員 WEB 交流会
BCP 対策訓練セミナー(全事業所)
認知症の特徴と多職種連携の必要性
ことばの影響
老化を知るからだ

3

2) 特別養護老人ホームすみれ園

重点実施項目についての状況・結果報告

1. 日常生活の援助

現在、特養の新規入居対象は、原則要介護3以上の高齢者に限定され、自宅での生活が困難な中重度の要介護者を支える施設としての役割を担っています。

一方で、町内は住宅型有料老人ホーム等高齢者の居住施設、介護施設が増加し、以前に比べ軽度の状態から介護施設を利用し、中度重度となっても、そのまま馴れたところを利用されるケースが増え、入所の待機者やショートステイの利用者数がここ数年減少しています。入所申込者募集のため、近隣の居宅介護支援事業所、医療機関の地域連携室等に空床の状況を随時お知らせしておりますが、反応が乏しいのが現状です。医療機関からのご紹介があるも、当園の医療体制では、対応が困難なケースもあり、入所者様の受診介助も平日は、ほぼ毎日あるため、今後は、看護師の人員を増やし、それに伴い、看護師の勤務体制を見直すなどの検討が必要な状況も出てきています。

要介護1, 2の特例入所者は、2名と減少。昨年に比べると胃瘻造設者や持続点滴対応者等入所者の重度化傾向にあり、令和6年3月末時点での要介護度平均値は、3.7となっています。

平均年齢は、87.2歳(前年度88.7歳)平均在籍月数は、入所者の入れ替わりが激しく1年間の入所者は17名、退所者22名となり、前年度より入所者4名減少、退所者が3名増加、前年度同様入退所の入れ替わりが顕著でした。

稼働率で見ますと二度のコロナクラスターが大きく影響し、令和5年度末で、88.7%の状態、令和4年度末で95.2%でしたので、稼働率は、十分に満たすことができませんでした。

新規入所者は病院・療養病床からの入所が7名、特養のロングショートから5名、併設の有料老人ホームから1名、他福祉施設から1名、自宅からの入所が3名。令和6年3月末現在で、入所者の方の要介護度は54.5%が要介護4, 5, 41.8%が要介護3でした。

平均在籍月数は、入所者の入れ替わりが多く、前年と同水準の3年7か月となっています。(短期入所者数は別紙記載報告)…稼働率は、94.0%。昨年の利用率70.1%より増加となっております。平均年齢87.7歳、要介護度平均値は、2.3となっております。

2. 行事

行事を通して入居者へ適度な精神的刺激を受けていただくように努めました。

誕生会や季節の行事等の月間行事の取り組み、昨年度実施できなかったバスハイクは年2回実施することができました。また、天候が良い日に園庭への散歩を行うことで気分転換を図りました。お楽しみ会やハロウィンパーティーを開催し、職員の出物やゲームなど楽しい時間を過ごしていただくよう立案し、実施しました。

多目的ホールで入居者がゆったりとした時間を過ごされ、食事前の口の体操や午後からの運動の取り組み、レクリエーション等も出来る範囲で取り組むことができました。

(各行事については別紙に記載報告)

4

3. 地域交流と社会参加の場づくり

長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で運動会、敬老会、町内外サークル慰問等による地域交流社会参加の場づくりが出来ておりません。

4. 広報活動

広報活動やご家族との双方向のコミュニケーションの活性化のため、今後、広報活動としてホームページ等インターネット、LINE、Facebook等のSNSの活用も検討しております。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことに伴い、直接面会を再開し、入所者様とご家族様のコミュニケーションをサポートし、家族間の交流が継続できるよう心掛けています。

担当介護員からの年賀状等を送付しました。

5. 防災活動

避難訓練(コロナ禍のため、昼間の避難訓練が、実施できておりません。)

6. 感染症対策

入居者職員の感染予防対策として、年に1回の胸部レントゲン撮影、インフルエンザの予防接種、コロナワクチン接種3回を行い日々の手洗いや嗽の励行、入居者の口腔ケアに努めました。

また、感染症予防対策委員会では佐賀県からのクラスター発生時の応援体制、ガウンテクニックについての動画を視聴し、常に危機感をもち基本的な感染対策を行っていく事の大切さを学びました。

手洗いについて十分行われているか、保健所より手洗いチェッカーを借用し、各自洗い残しがないかの確認を行いました。

食事前の手拭き、消毒の徹底や食後に新しいお絞りを提供し清潔保持にも努めました。

インフルエンザ感染予防、新型コロナウイルス感染症の予防の為、マスク着用、職員通用口の自動体温測定計の設置、手指消毒を行いました。

清潔と不潔の混合について手順や改善策をマニュアル化していきました。

7. 事故防止対策

週ごとに事故防止委員で発生項目を確認し、3ヶ月ごとにヒヤリハット・事故報告書の集計を行い、項目と対策について周知を行いました。

ヒヤリハットとしては立ち上がり・独歩・自力移乗等が多く上がっていました。場所としてはホール・居室・食堂など日中過ごされる事が多い場所での発生が多く見られました。時間としては離床されている時間が多かったです。

事故としては、転倒・ずり落ち・皮膚剥離が多く発生しており、その他の項目としては誤食や異食・配膳間違いなどが上がっていました。転倒・ずり落ちについては日中・夜間共に発生が見られていました。転倒などについては以前より見守りの徹底や足元センサー、離床センサー、衝撃吸収マットなどを用いて事故の防止に努めてきましたが、日中の手薄な時間や夜間の少ない人員で対応している際などは、他の入居者の対応やコールの重なりなどで対応が遅れてしまい、事故に繋がってしまう事が見られていたので、眠りスキャンやインカムなどの機器を導入し、今まで以上に行動の早期把握と職員間での情報伝達を素早く

行い、事故の予防に努めました。発生場所としては居室・ホール・トイレ・食堂等ヒヤリハット同様に過ごされている場所で、時間帯としては日中に多く発生していました。

事故発生に関しては完全になくすことは困難であると思われます。また、人員の不足など

見守りの眼が届きにくくなっている事も考えられ、さらに介助が必要な方が増加されている事もあると思われます。しかし、適切な機器の使用とヒヤリハット、事故報告書等を活用し、日常のリスクの情報共有を行う事によって事故を予防していく事が重要であると思われます。今後も事故防止委員会を中心として情報の発信と予防対策を行っていき、予防と再発の防止に向けて取り組んでいきます。

8. 高齢者虐待防止対策

コロナ禍の為施設外の研修ができず年2回、施設内Web研修で虐待についての定義、虐待のもとになる不適切なケアについての理解、不適切なケアが起こりえる背景及びストレスについての理解を深めました。

また、不適切なケアについて学んだことが今どのような変化に繋がっているかアンケートを実施し、虐待に繋がらないように早期に検討を行いました。

9. 夢かなえについて

今年度はコロナ禍の為全面的に夢叶えの実施ができませんでした。

10. 家族との交流について

入所時には積極的な面会をお願いし、遠方在住のご家族に対しては広報誌等の送付により生活状況をお伝えしてきました。しかし、コロナ禍の為ご家族様との直接的な交流ができず、外出も制限があつて交流の場を設けることができませんでした。しかし、最低限の交流を持つため、コロナの感染者の減少により窓越しの面会等で最低限の対応をすることができました。

また、施設介護計画書を随時ご家族様に郵送し、現在の入居者様の状況を把握していただくよう努めることができました。

11. その他

令和5年度 実習、慰問、ボランティア、受け入れ

7, 8, 10月 西九州短期大学 4名

(コロナ禍のため、慰問、ボランティアの受け入れは、中止せざるを得ませんでした。)

月	利用ベッド数	ベッド利用率	1日利用平均
4	198 床	82.5%	6.6 床
5	185 床	74.6%	6.6 床
6	162 床	67.5%	5.4 床
7	157 床	63.3%	5.1 床
8	182 床	73.4%	5.9 床
9	192 床	80%	6.4 床
10	244 床	98.4%	7.9 床
11	239 床	99.9%	8.0 床
12	319 床	128.6%	10.1 床
1	302 床	121.8%	9.7 床
2	286 床	123.3%	9.9 床
3	289 床	116.5%	9.3 床
平均	230 床	94.1%	7.5 床

令和5年度 夢叶え実施状況

*夢叶えを希望される方の大半は、外出(買い物、食事、自宅へ帰りたい)を要望されていましたが、コロナ禍の為希望にそえず実施することができませんでした。

4月15日	喫茶(パンナコッタ)	12月24日	誕生会(誕生者5名)・クリスマス会
4月29日	誕生会(誕生者4名)	12月30日	門松づくり
5月17日	母の日(50名)プレゼント・スイーツ	1月1日	お屠蘇会
5月20日	喫茶(よもぎ蒸しパン)	1月31日	誕生会(誕生者10名)
5月27日	誕生会(誕生者5名)	2月3日	節分
6月10日	喫茶(フルーチェ)	2月24日	誕生会(誕生者10名)
6月18日	父の日(12名)ノンアル・つまみ	3月13日	雛祭り
6月24日	誕生会(ティラミス・アイス)		
7月8日	七夕祭り		
7月29日	誕生会(誕生者4名)		
8月12日	喫茶(ケーキ・プリン)		
9月23日	誕生会(8月生2名)(9月生5名)		
10月4日	喫茶(プリン・ケーキ)		
10月4日	敬老会 百寿・白寿・米寿・最高齢者へプレゼント		
10月25日	おでん会		
11月1日	ハロウィンパーティー(おやつ)		
11月29日	誕生会(誕生者6名)		
12月13日	喫茶(スイーツ豆花(トウハア))		

すみれ園（医務）

令和5年度の入院者は累計35件（ショート利用者5名含む）で、うち3名は病院での継続治療が必要となられ退所となられ、3名は入院中に死亡退園されました。

令和3年度から、当園での新型コロナウイルスワクチン接種も始まり、令和5年度も引き続き第6回目の新型コロナウイルスワクチン接種されましたが、30名の施設利用者が新型コロナ感染症陽性となられました。引き続き、利用者様の健康管理、感染予防、感染対策に努めていきたいと思っております。

・状態に応じたバイタル測定

・健康診断	ホームと長期ショート利用者の結核健診(10/1、10/2)	年1回
	ホームと長期利用者の血液による内科検診(5月)	年1回
	体重測定	月1回
	全職員の健康診断	夜勤者(9月、3月) 年2回
		夜勤者以外(9月) 年1回

・リハビリ 音楽 生活リハビリの実施 毎日

・予防

1 インフルエンザ

予防接種の実施(ホーム入所者・ショート利用者・全職員)

利用者のインフルエンザ罹患患者数	ホーム利用者	1名
	ショート利用者	0名
職員の罹患による出勤停止者数		0名
職員のご家族(同居)が罹患し、予防薬で出勤		0名

2 嘔吐下痢症

施設利用者による嘔吐下痢罹患患者数	0名
職員の罹患による出勤停止者数	0名
職員の家族による出勤停止者数	0名

3 その他の感染症による出勤停止者数

施設利用者のコロナ感染症罹患患者数	30名
職員のコロナ感染症濃厚接触者としての出勤停止者数	6名
職員のコロナ感染症陽性者としての出勤停止者数	6名

4 職員の麻疹ワクチン接種 対象者なし

すみれ園（給食管理）

業務報告

1. 食事提供について

R5年度も日清医療食品(株)(委託業者)と連携し、安定した食事の提供をすることができました。献立内容については、給食委員会での意見や日頃からの意見をもとに、委託担当者・調理員に繋げ、現地で改善できるものは対応に努めました。人員・人材不足は続いているので今後も調整・検討をしていきます。

個別対応食として、個々人の身体状況に合った食事を看護師、介護員、栄養士の話し合いのもと提供しました。血液検査、体重測定等の結果のもと、栄養状態の思わしくなかった方、または食事摂取率が低下されている方には栄養補助食品等で対応し、栄養状態の改善に努めました。便秘の方に対してのオリゴ糖を使用した排便コントロールについても、引き続き多職種で取り組みました。

2. 調査について

入所者の個人別食事摂取調査を毎食後介護員、看護師等の協力のもと実施し、問題のある方については多職種と話し合い、改善出来るよう検討しました。

残菜調査については毎食後主食と副食に分けて計量し、記録しました。給食委員会での意見、日頃からの各部署より意見を参考に、献立改善・変更に努めました。

3. 衛生について

厨房内の清潔は常に心がけ、毎日の清掃、フード清掃、グリーストラップ清掃など努めました。また、毎月1回、大掃除の日を導入し普段清掃不足になる箇所の清掃ができるようにしました。

厨房内の水質検査は朝・夕(就業前と後)に実施し記録しました。

検便については、調理従事者は毎月1回実施し、そのほかの職員については食中毒予防と健康診断をかねて年4回(4・7・10・1月)実施しました。

※施設長・在宅ケアマネージャー・支援・事務職員は4月、10月実施

4. 給食委員会

R5年度は、4月、6月、8月、10月、12月、2月に実施しました。

4、6、8、2月は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、書面回覧にて行い、10、12月は通常開催をしました。意見等については委託担当者に伝え、調理員とも話し合いをして改善に努めました。

3) デイサービスセンター すみれ園

2023年度の実績として、今年度の年間サービス実施日数は311日(昨年度312日)で、今年度も自然災害や感染症のクラスター等の影響はなく営業出来ました。

しかしクラスターこそ起きてはいませんが、新型コロナウイルス感染症は多少なり確認され、その他の入院者も昨年度に比べ多く見られました。特に長期入院や退院後自宅復帰出来ず施設入所等の事例も多く、又死亡された方も多かったようです。年間の利用人数には大きな影響があり、延登録人員の定員30名×日数=9,330名(前年度9,360名)に対し、延実利用人員は、7,497名(前年度8,147名)と約650名大きく減少しました。

利用率は、80.4%(前年度87.0%)で収入面でも大きな影響がありました。

有料老人ホーム入居者についても、毎年多少の入れ替わりはありますが、今年度は退居される方に比べ、新たに入居される方が少なかったようです。特に長期的に入居されていた方が、亡くなられたり、特養入所されたりなど大きな変化もありました。新入居者が確保出来なかった事が利用率低下の大きな原因の一つとなりました。外部の利用希望の方についても、例年より依頼が少ないように感じました。その分総合事業対象者の方の依頼が数件あり、獲得に至りました。

1日平均利用者も24.1名(前年度26.1名)と昨年より減少しました。月平均624.8名(前年度679名)と減少です。今年度の利用者の年齢は、70代前半から100歳を迎えられた方と年齢差に更に幅がありました。

今年度は総合事業対象者の利用が7月以降継続している状況です。

要介護者については、今年度も「介護度1」「介護度2」の方が、大半であり、「介護度3」以上の方については、昨年同様平均で3~4名程度でした。介護度が重くなると、自宅や有料老人ホームでの生活が難しくなり、同時に通所介護の継続的利用も困難となるのは仕方が無い事だと思います。

要介護者の方で、同じ介護度1の方でも状態に大きな開きがあり、また、要支援の方であっても、要介護状態の方以上の介護量が掛かったり等、認定調査の結果に疑問を感じる事も多々ありました。現状では、8割以上の方が見守りや付き添い介助が必要な方であり、利用人数は少ない割には、一人一人に掛かる介護量は年々増えて来ています。

1日の過ごし方としては、新型コロナウイルス感染症が5類になった事もあり、昨年度よりは幾分制限を緩和しました。ただ新型コロナウイルス感染症が絶滅した訳では無く、また、インフルエンザも一時的に流行した為、感染対策はしっかりと継続しました。レクリエーションについては、コロナ禍前のように、バリエーションを増やしました。バスハイクについては、車中は密室になる為、大声や換気に注意を払いながら、実行しました。バスハイクは今年度も換気が出来る季節に限定し行いました。年間通して少ない外出行事は、気分転換が出来る為、利用者様には大変好評でした。

午後のリハビリ体操は、例年通り行い、ほぼ毎日全員が参加されています。引き続き内容を検討しマンネリ化しないよう行って行きます。

体操後の時間は、体調不良でない限り、基本手工芸を中心として行いました。しかし強制ではなく、個別で趣味活動に対応する事も出来ました。食事に大きな変化は無く、味も全く変わりませんが、殆ど方が「美味しい」と言って下さいました。

しかし残食も目立っていました。今年度も配膳の際乗せ忘れが目立っていました。箸やスプーンであれば何とかデイサービス内でフォロー出来ますが、中には主食や主菜の乗せ忘れがあり、乗せ忘れと言うレベルを逾越した失敗も多く見られました。利用者様へ迷惑を掛ける事となる為、次年度は少なくして行く必要性があると思います。食事中に誤嚥される方への配慮も怠らず、見守りを続け大きな事に繋がる事はありませんでした。

入浴については、大きな浴槽は誰にでも好まれ、大変好評でした。入浴では毎日身体清潔に心掛け、皮膚状態の観察も行いました。浴後は主治医の処方に従い、貼り薬や塗り薬の対応も行いました。入浴は当事業所の最大の売りとして行きたいと思います。今年度も入浴の稼働率が低いのは、有料老人ホームの方をはじめ、外部の方でも毎日利用される方については、限度額の問題で1日置きの入浴となっています。

排泄については、定時の声かけを行い、個人の排泄パターンに応じ誘導も行っています。介助が必要な方については、最後まで付き添い交換等行います。排泄チェック表を用いて記録し、利用者一人一人の排泄周期を確認でき、便秘の改善にも取り組みました。

全体では、5月よりコロナ感染症が5類となった為、この数年に渡りコロナ禍の制限を受けていたレクリエーション活動が通常に戻せた事は良かったと感じました。又年々コロナ感染症に対する理解が深まり、恐怖心も和らいで来た事も良かったと思います。しかしまだまだ感染する方もおられるので、気を抜く事なく感染対策は継続して行きます。この数年のコロナ禍で、マスク着用、換気、消毒が定着しました。来年度も引き続き対策を行っていきます。

職員については、今年度もコロナ感染やインフルエンザに感染した職員もいた為、引き続き対策を徹底して行い、利用者や他の職員へ迷惑を掛けないよう心掛けて行きます。今年度は計画的にWEB研修も受ける事が出来、職員全員学習出来ました。また、来年度の法改正へ向けての研修もしっかり受け、理解する事が出来ました。今後も利用者様へ統一したサービス提供が行えるよう、引き続き研修や学習、教育を行います。虐待や個人情報漏洩等決して無いよう、十分に配慮して行きます。今年度は稼働率、収入共に大幅に減少した為、来年度は増収に努めます。

令和5年度デイサービスすみれ園 保険外利用一覧

月	介護度	実人数	延人数	利用料	合計
4月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
5月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
6月	要介護	0人	0人	0円	850円
	要支援	1人	1人	850円	
7月	要介護	1人	1人	850円	1,700円
	要支援	1人	1人	850円	
8月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
9月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
10月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
11月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
12月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
1月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
2月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
3月	要介護	2人	2人	1,700円	2,550円
	要支援	1人	1人	850円	
合計	要介護	6人	6人	3,400円	
	要支援	3人	0人	0円	
	総計	9人	9人	7,650円	

令和5年度デイサービスセンターすみれ園 事業実施状況

実施月	利用回数	延登録人数	延利用人数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実利用者計	利用率	1日平均	延入浴人数	入浴利用率	備考
4月	25回	750名	609名	0名	0名	0名	12名	16名	2名	1名	0名	31名	81.2%	24.4名	336名	55.2%	体験1名含む
5月	27回	810名	625名	0名	0名	0名	13名	13名	3名	1名	0名	30名	77.2%	23.1名	350名	56.0%	
6月	26回	780名	641名	0名	0名	0名	14名	16名	4名	0名	0名	34名	82.2%	24.7名	342名	53.4%	体験1名含む
7月	26回	780名	650名	0名	0名	1名	12名	18名	3名	0名	0名	34名	83.3%	25.0名	372名	57.2%	体験2名含む
8月	27回	810名	667名	0名	1名	1名	11名	18名	4名	0名	0名	35名	82.3%	24.7名	369名	55.3%	
9月	26回	780名	670名	0名	0名	1名	13名	18名	4名	0名	0名	36名	85.9%	25.8名	370名	55.2%	
10月	26回	780名	668名	0名	0名	1名	12名	19名	3名	0名	0名	35名	85.6%	25.7名	368名	55.1%	体験1名含む
11月	26回	780名	617名	0名	0名	1名	11名	15名	4名	0名	0名	31名	79.1%	23.7名	352名	57.1%	
12月	26回	780名	584名	0名	0名	1名	11名	15名	4名	0名	0名	31名	74.9%	22.5名	341名	58.4%	
1月	25回	750名	575名	0名	1名	1名	11名	16名	4名	0名	0名	33名	76.7%	23.0名	328名	57.0%	
2月	25回	750名	592名	0名	1名	1名	10名	14名	4名	0名	0名	30名	78.9%	23.7名	349名	59.0%	
3月	26回	780名	599名	0名	1名	1名	12名	13名	4名	0名	1名	32名	76.8%	23.0名	357名	59.6%	体験3名含む
計	311	9330名	7497名	0名	4名	9名	142名	191名	43名	2名	1名	392名	-	-	4234名	-	
平均	25.9	777.5名	624.8名	0.0名	0.3名	0.8名	11.8名	15.9名	3.6名	0.2名	0.1名	33名	80.4%	24.1名	352.8名	56.5%	

4) ケアマネジメントサービスすみれ園

1. 認定調査

令和4年度より大字大町地区の認定調査を担当しています。年間の調査件数は、73件(町外の方や他広域の方を含む)、月平均6件となっています。昨年度は大牟田市や唐津市等からの調査依頼も受けました。町内の住宅型有料老人ホーム等に遠方からの入居者も少なくないようです。

令和4年度と調査件数はほぼ変化ありません。令和5年度には新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行されましたが、流行の波があり施設での感染の拡がりもあって面会が制限される場合も多く、住宅型有料老人ホームやグループホーム等に入居されている方の調査にご家族が立ち会うことが難しい状況が依然継続しています。

最近の認定結果は全体的に軽くなる傾向が続いています。軽快は喜ばしいことですが実際にサービスを減らすことになり不満を訴えられる方もおられます。調査員として丁寧な調査を心掛け、必要に応じて直接サービスを提供されている訪問介護や通所サービス事業所などへの聞き取りを行うなども行いました。

4月	9	10月	4
5月	8	11月	4
6月	2	12月	5
7月	5	1月	11
8月	3	2月	6
9月	6	3月	10
合計	73	平均	6.08

2. 要介護認定者への支援

居宅サービス計画の作成(ケアマネジメント)にあたっては、利用者の生活状況や生活における課題を把握し、利用者の有する能力を最大限に活用しながら、自立支援を目指しました。サービス利用開始後は、毎月自宅で利用者及び家族と面談し、心身状態の把握やサービスが適切に実施されているか等を把握(モニタリング)し、状況に応じ3ヶ月から半年毎にケアプランの評価及び見直しを行っています。

介護保険の更新や区分変更申請を行った場合は主治医や各サービス提供事業者からの専門的な意見を聴取し、より充実したケアプランとなるよう心掛けています。介護保険の更新や区分変更申請を行った際に、ご本人及びご家族、サービス担当者により開催されるサービス担当者会議については今年度も参加者を最少人数にしたり感染が流行している時期には状況に応じて文書による照会にしたりするなど新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からの対策は継続しています。

毎月のモニタリングの際は、住宅型有料老人ホームへ入居されている方やショートステイ利用

中の方とは、スタッフからの聞き取りでの対応からガラス越しの面談、直接の面会まで、その時々での感染状況とそれぞれの施設の制限に応じて対応を行いました。5類感染症へ移行後は以前より制限もやや緩やかになったように感じています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大で住宅型有料老人ホームでのクラスター発生や利用者の家庭内感染がありました。家庭内感染の場合は定期的に電話連絡を行い状態把握に努めました。今年度は重度化される利用者はおられませんでした。

令和5年度において新規で居宅サービス作成依頼(予防支援を含む)を受けた件数は25件となっています。令和5年度末までに居宅介護支援を終了した方が19名となっており、内訳として、特別養護老人ホーム入所4名、老人保健施設入所3名、長期入院2名、死亡6名、軽快(要支援への変更含む)3名、その他1名となっています。

高齢の方々のため転倒骨折での入院も多く、また体調を崩されると入院が当初の予定より長期化する傾向もあり、新規の利用者は積極的に受け入れを行っていますが毎月の利用者数には大きな変化はありません。

令和5年度はケアマネ3名体制へ増員があり手厚い支援を行う体制が整ったことから、令和5年1月から特定事業所加算を算定するようになりました。24時間オンコール体制の整備、他事業所との合同事例検討会への参加、対応困難事例の受け入れなど加算算定の条件が厳しく負担が増えましたが今後も積極的に取り組んでいきたいと思っております。

・居宅サービス計画作成件数

	サービス計画作成件数		サービス計画作成件数
4月	62	10月	70
5月	65	11月	72
6月	66	12月	69
7月	66	1月	68
8月	66	2月	66
9月	69	3月	67
合計	806	平均	67.1

3. 要支援認定者への支援

要支援認定を受けた高齢者の介護予防支援については地域包括支援センターより委託を受け、支援を行っています。支援の流れは要介護の方と変わりなく、毎月のモニタリングのための訪問、定期的な評価、見直しを行っています。要介護から要支援へ軽快される方もおられましたが継続して担当を行っています。

・介護予防サービス計画作成件数

	介護予防支援	予防ケア マネジメント		介護予防支援	予防ケア マネジメント
4月	3	0	10月	4	0
5月	3	0	11月	4	0
6月	4	0	12月	5	0
7月	4	0	1月	4	0
8月	4	0	2月	4	0
9月	4	0	3月	5	0
合計	48	0	平均	4	0

5) 在宅介護支援センターすみれ園

1. 配食サービス調査

大町町からの委託を受け、町内の65歳以上の配食サービスを希望する独居高齢者や高齢者世帯の方を訪問し、実態把握の調査を行っています。令和5年度も大字大町地区の調査を担当しました。年間の調査件数は8件と多くはありません。

町の配食サービスは独居高齢者や高齢者世帯しか利用できないことから、ワタミのタクシヨクや生協のお弁当などを利用されている高齢者も少なくないようです。

・配食サービス調査

	調査件数		調査件数
4月	1	10月	1
5月	0	11月	0
6月	1	12月	0
7月	0	1月	1
8月	1	2月	3
9月	0	3月	0
合計	8	平均	0.66

2. 福祉車両及び車椅子貸与

要介護高齢者の外出支援、在宅生活維持の支援として、町内在住の要介護者を対象に車椅子に乗ったまま乗車できる福祉車両及び車椅子の貸し出しを行っています。

受診困難な方には訪問診療の導入されている方も増えており、車輛の貸し出しを希望される方

は限定的ですが福祉車両を利用することで受診が楽になったとの声もあり今後も貸し出しは継続したいと思っています。

・福祉車両及び車椅子貸出件数(のべ人数)

	福祉車両	車椅子		福祉車両	車椅子
4月	1	0	10月	1	0
5月	3	0	11月	1	0
6月	2	0	12月	1	0
7月	0	0	1月	0	0
8月	1	0	2月	2	0
9月	1	0	3月	3	0
合計	16	0	月平均	1.3	0

6) ケアハウスすみれ園

令和5年度は、退居者数5名、入居者数4名で入居者の平均年齢は81.8歳であり前年比1.7歳減となり、ここ数年は男性入居者も増え平均年齢も若くなる傾向にあります。最高年齢者は90歳台半ばから一番若い方で60歳台前半と年齢差が幅広く、自立の方から要介護の方までご利用されています。今年度、退居者数が増加した要因としては、やはり長く続いたコロナ禍での生活の中、多くの活動制限を強いられたことで心身への影響も大きかったのではないかと考えられます。令和5年度中の入院者は、14名中延べ3名、ショートステイ利用が3名、退居された方の理由としては、加齢に伴い身体機能の低下や持病の悪化により介助が必要となられるなど、ケアハウスでの自立した生活が難しくなった為、併設特養のショートステイ(ロング)を利用されたり、当法人以外の施設へ転居されることもありました。入院に関しては、転倒による骨折や心疾患の増悪などがありました。また、昨年度に引き続き、入居者の体調の変化を見逃さない為にも、毎週一回の健康チェックを実施し、入居者の心身の状態観察、健康管理に努め家族、主治医、担当ケアマネージャーなど関係機関と密な連携に努めました。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、アフターコロナの対応として当施設としてもこれまでの制限を徐々に緩和してきています。ADLや認知機能低下の防止、体力維持向上を図るため、コロナ禍より実施してきた、いきいき100歳体操や健康体操は継続的に実施し、さらに施設内ボランティアとして清掃や洗濯物畳み雑巾作り等を実施しました。手作りした雑巾は地域の保育園へ寄贈を行い、地域への貢献活動は入居者にとって、やりがいのある活動へと繋がっています。生活の中で楽しみを持つためセレクト弁当の日を設けたりと満足いただけるような取り組みを行いました。また敷地内にある畑を利用して家庭菜園の充実を図り、季節の花や野菜の栽培に取り組みました。収穫した野菜はお漬物やぬか漬けを作って食べたり入居者からも大変好評を頂けたため、来年度も継続して活動に取り組みたいと思います。

今年度より当施設も食材費や光熱費の物価高騰の影響を受ける中、節電・節約等の経費削減へ職員一人ひとりが意識して行ってきましたが、高騰が予想以上であり苦渋の決断ではありましたが、入居者・ご家族様のご理解を得て、電気料1kwあたりの単価を値上げ致しました。また、ご利用者の生活環境整備としまして、各居室のユニットキッチンに電気温水器の設置を行い寒い季節でも安心してご利用できるよう整備を行いました。今後も、入居者にとってより良い生活環境を整えるよう努めていきたいと思います。

〈感染症対策〉

新型コロナ感染症については、インフルエンザと同等の5類感染症移行後も、コロナ禍で習慣化できていたマスク着用、手指消毒、換気の徹底など感染予防対策を継続して努めた結果、今年度は新型コロナ・インフルエンザともに罹患した入居者はいませんでした。面会や外出制限等を徐々に緩和していますが、5類移行後も感染力に関しては軽減していないため、重症化リスクがある高齢者にとっては、施設内に「持ち込まない」「広げない」ための感染予防対策は今後も継続的に必要と考えます。

入居者状況(令和6年3月31日現在)

男性	6名
女性	7名
計	13名

男女別年齢構成

年齢	男性	女性	計
60～64	1	0	1
65～69	0	0	0
70～74	1	0	1
75～79	3	1	4
80～84	1	1	2
85～89	0	0	0
90歳以上	0	5	5
計	6	7	13

入居者の介護度

自立:2名

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3	3	5	0	0	0	0

介護サービス利用人数(複数利用あり)

訪問介護	デイサービス	デイケア	福祉用具レンタル	合計
5	1	1	7	14

居室稼働率

・退居は原則として月末

・年間を通しての稼働率:86.6%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定員数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
入居者数	14	13	14	13	13	13	12	12	13	13	13	13
新入居者数	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0
退居者数	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0
稼働率	93.3	86.6	93.3	86.6	86.6	86.6	80.0	80.0	86.6	86.6	86.6	86.6

年間行事については、定例のお茶会、誕生会を行い楽しんでいただき入居者間の親睦を深めることができました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染の流行により運動会、秋祭り等の行事が中止となり実施できませんでした。バスハイクに関しては感染対策を行い、日用品の買い物、他、季節の花見学を実施でき気分転換を図ることが出来ました。

実施行事内容

	行 事 内 容
4月	お茶会・セレクト弁当
5月	お茶会・誕生会・セレクト弁当・バスハイク(お買い物)
6月	お茶会・セレクト弁当・訪問カット
7月	お茶会・誕生会・セレクト弁当・バスハイク(買い物)
8月	お茶会・セレクト弁当
9月	誕生会・敬老会・水質検査(レジオネラ)・セレクト弁当・訪問カット
10月	お茶会・セレクト弁当
11月	お茶会・誕生会・バスハイク(お買い物)・セレクト弁当
12月	クリスマス会・セレクト弁当・訪問カット・大掃除・餅つき大会
1月	お茶会・お屠蘇会・新年会・バスハイク(初詣)・セレクト弁当
2月	お茶会・セレクト弁当
3月	お茶会・誕生会・水質検査(レジオネラ)・セレクト弁当・訪問カット

お茶会(1回/月) 誕生会(1回/2ヶ月) セレクト弁当(1回/月)
バスハイク(1回/月)※感染状況により実施 水質検査(2回/年)

新型コロナ感染症の位置づけが5類へ移行してますが、今後も施設内に「持ち込まない」「広めない」よう基本的な感染対策を行いながら、体調、精神面の変化に留意し健康で安全な生活を送っていただけるように努めるとともに、個々の支援の必要性の見極め、家族、関係機関との細かな連携に努めます。

また、引き続きケアハウスの入居待機者、入居者を得るために関係機関と連携を図り、広報に努めていきます。

7) 有料老人ホームすみれ園

令和5年度の実績として、実入居者は208名(前年度239名)で月平均入居者数17.33人(前年度19.91人)で延入居者数は6,037名(前年度6,882名)と月平均では、503.1名(前年度573.5名)と大幅に減少しました。

今年度も実入院者は5名で、一度の入院が長期化する事も多くありました。その中で退院後、有料老人ホームへ復帰されたのは4名、昨年度より退院後復帰される方は増えました。しかし、一時的なものであり、直ぐに入院を繰り返される件も2件ありました。最終的には完全復帰される方は2名であり、1名は再入院後死亡されました。復帰が困難な方については、特養やその他施設へ入居されています。当有料老人ホームは、居室の形状により車椅子状態の方の受け入れが難しかったり、又夜勤者が一人と言う事もあり、退院後介護量が増える方や常時見守りが必要な方については、復帰が難しいようです。

令和5年度の入居者の平均年齢が89.4歳であり、昨年度より若干若くなっています。令和5年度の入居者の年齢は71歳～98歳と年齢層にかなりの幅がありました。今年度は開所当時から長年入居されていた方が退所となる等の変化もありました。この退居の方以降は短期間での入れ替わりも更に激しくなっています。短い方では約3ヶ月間で退居となっています。

入居者ほぼ全員の方が、多くの疾患を抱えておられ、主に心疾患、骨粗鬆症、認知症、呼吸器疾患、腎疾患等が多いようです。特に近年は重度の認知症と心疾患の方が目立ちます。年々昼夜問わず緊急入院等の事例も増えて来ており、一度入院されれば、有料老人ホームへ復帰される方は少なく、一旦復帰しても再入院や、他の施設へ移る等有料老人ホームの生活を継続する事は中々難しいようです。

今年度は入退所は多少繰り返していましたが、満床になる事は無く、常に空き部屋がある状態でした。有料老人ホームは、介護保険制度とは関係なく、入居に係る全てが自費となります。その為、経済的な問題で入居が出来ない方も多くおられました。これは今後の大きな課題となります。

<感染症予防>

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月より5類感染症扱いとなり、規制の枠が大きく外れましたが、新型コロナウイルス感染症が消滅した訳では無く、今現在でも増減を繰り返しています。今年度は幸い当有料老人ホームで新型コロナウイルス感染症は出ていませんが、インフルエンザに感染される方が数名出る等、常に感染リスクはありました。予防として、手洗い、マスク着用、アルコール消毒と定められた感染対策を怠る事無く継続し、日々の感染予防に努めて来ました。面会については、時間や面会室での面会など、多少の規制は設けましたが、昨年度よりは緩和しました。又外出を許可する等、入居者や家族の要望にも応えて来ました。入居者様については、大半の方にマスク着用が定着し、手指消毒へも理解を得る事が出来、外出時にも心掛けて頂きました。今後も感染対策をしっかり行っていきます。

<事故予防>

年々高齢化は進み、介護度の重度化も比例している中、今年度も転倒事故は起こってしまいました。有料老人ホームで安心して生活して頂くには、少しでも事故を防いで行かなければなりません。その為には、引き続き付き添い、見守りを重視し、誤嚥や転倒事故を防いで行きます。対策の

一つとして今年度もセンサーマットを新たに購入し、家族の理解を得た上で使用させて頂き、早めの対応が出来たのではないかと思います。今後も巡回を怠らず、見守りを強化する事で、今以上に転倒事故を防いでいきます。誤嚥については、今年度も大きな事故に繋がる事はありませんでしたが、やはり、水分や固形物で少し咽る方はおられました。その都度、食事形態の見直しやトロミの有無や度合い等検討しました。今後も大きな課題の一つと思われます。

令和5年度入居者数と平均介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	18	16	17	17	18	20	18	16	16	17	18	17
平均介護度	1.7	1.8	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.7	1.7

☆上記は全て月末時点の状況

令和5年度入居者の入所前の状況

- ① 家族構成 入所前独居者……57% 入所前家族と同居……43%
- ② 入所前の状況 病院からの入所……43% 施設からの入所……14%
自宅からの入所……43%

入居者の在宅サービス利用状況

デイサービス利用……95.0% 訪問介護サービス利用……0%
訪問リハビリ利用……0% 福祉用具貸与 ……5%

令和5年度入所状況

月	入所者数	介護度
6月	1名	要介護2
7月	1名	要介護2
8月	1名	要介護1
9月	2名	要介護1
1月	1名	要介護2
2月	1名	要介護1

〈入所理由〉

- ・認知症の進行により独居生活を続けることが難しいと家族が判断した(2名)
- ・身心の低下により在宅生活を続けることが難しいと家族が判断した(1名)
- ・身心は改善にするが、自宅では不安な為他施設や病院から当施設へ入所となった。(4名)

令和5年度退所状況

4月	2名	要介護1 要介護2
6月	1名	要介護3
9月	2名	要介護1 要介護3
10月	2名	要介護1 要介護2
2月	1名	要介護2

退所者数は8名、平均入所月数期間は53.1ヵ月だった

〈退所理由〉

- ・身心の機能の低下により、特老や他施設への入所となった。(6名)
- ・専門的な病院での治療が必要となり退所となった(1名))
- ・契約中の中、入院中に死亡された(1名)